

# 4月の果実の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
りんご類	3,523	160	5,531	391	70	277	6	0.2	青森産が殆んどを占める。各産地の在庫量は、前年を大幅に上回っている。4月の弘前の産地在庫は、ふじが前年の200%、王林が170%、ジョナゴールドが130%となっている。全体の入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。
いちご類	5,129	99	5,215	762	95	755	-	0.0	栃木、福岡、佐賀、茨城、静岡産中心の入荷となる。栃木は低温や降雪の影響で葉の展開が遅れており、着果もバラツキが見られ、出荷量は前年をやや下回る。福岡・佐賀・静岡は生育順調で前年並みの出荷となる。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや下回る見込み。
メロン類	742	140	1,263	761	90	642	-	0.0	熊本、茨城、静岡産が中心となる。アンデスメロンは熊本が9割以上を占め、生育は順調で果実肥大も良く、2L・LAサイズが中心となる。茨城も生育、果実肥大とも順調で、4月上旬から出荷が始まる。全体の入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。
おうとう	11	98	15	7,908	100	7,370	9	81.8	山形、長野、山梨産が中心となる。品種は佐藤錦、高砂など。山形のハウスものは4月5日頃から出荷が開始となり、下旬頃から増量となってくる。長野、山梨は燃料費の高騰もあって栽培面積が減少しており、出荷量は前年を下回る。全体の入荷量、価格とも前年並みの見込み。